

県政だより

あきた 新時代

1
2003
月号

平成15年1月1日発行(第88号)
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

☎018(860)1073

FAX 018(860)1072

sinjidai@pref.akita.jp

新年を迎えて [寺田知事]
審議会の委員を募集します

[まちむら元気ルポ]

十文字町 [映画祭のまち]



横手市のむつみ保育園の子どもたちがフキ染めに挑戦。みんなでバケツを囲んで「どんな模様になるのかなあ」秋田ふるさと村でのひとコマです。

新年を迎えて



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、サッカーワールドカップでの日本と韓国の活躍や小柴昌俊氏と田中耕一氏のノーベル賞ダブル受賞など、うれしい話題もありましたが、一向に改善の兆しが見えない経済・雇用情勢や世界的な平和への不安など、全体的には閉塞感から抜け出せない一年であったように思います。

しかしながら、私は、このように先行きが不透明な時代こそ、逆に、地方が自ら知恵を出し、主体的に行動する絶好のチャンスであるとの視点から、これまでも攻めの姿勢で県政を推進してまいりました。

迎えた新しい年、平成15年も難しい課題が山積していますが、今年は、県政の指針である「あきた21総合計画」の「第2期実施計画」がスタートする年でもあり、依然として厳しい雇用情勢の改善を始め、男女共同参画の促進、将来の秋田づくりの礎となる社会資本の整備などに全力を挙げて取り組みたいと考えております。

また、県政の運営に当たっては、県民との良きパートナーシップのもと、時代の変化に柔軟かつスピーディに対処しながら、新たな行政システムの創造に果敢に挑戦してまいりたいと思いますので、県民の皆様のなお一層のお力添えをお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、皆様の御多幸とますますの御活躍をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



秋田県知事 寺田典城

あなたの意見を県政に

審議会の 委員を募集します

応募期間

1月6日▶2月7日

審議会ってなに？

県がさまざまな施策を立案・決定するにあたって、県民の皆さんや専門家、関係団体のご意見などをうかがう場です。年に数回開催されます。

県では県民の皆さんの県政への積極的な参画を進めています。

あなたの意見を県の施策に生かしてみませんか。

特に、男女共同参画社会に向けて女性の方々の応募をお待ちしています。

共通の応募条件

- ・県内在住の方
- ・断り書きのないものは20歳以上の方
- ・議員、公務員(大学関係者・教職員の方は除く)以外の方
- ・現在、県の審議会等の委員をしている方は除きます。
- ・作文は800字程度です。
- ・選考にあたって面接を行うものもあります。

お申し込み方法など

- ・詳細については、パンフレットをご覧ください。電話などで事前にご確認ください。
- ・応募用紙、パンフレット等については、電話、ファクス、Eメール等で県総務部総務課までご請求ください。県庁および各地方総合庁舎の県民ホールにも備え付けています。
- ・必要書類等を添付し、郵送、ファクス、Eメールで県総務部総務課にお申し込みください。
- ・委員になられた方には、会議の開催の都度、交通費等をお支払いします。

審議会の概要 応募条件、選考方法等

健康・生活・環境関係

1.心の健康づくり推進協議会(2人)

心の健康づくりや自殺予防対策について意見をいただきます。
面接

2.保健所献血推進協議会(女性8人)

各保健所管内の献血推進について意見をいただきます。
各保健所管内にお住まいの18歳以上の方で、献血協力者または献血ボランティアとして協力している方。
鷹巣、秋田中央、本荘、湯沢の各保健所でそれぞれ女性2人

3.青少年問題協議会(女性3人)

青少年の指導、育成等について協議します。
作文「秋田県の青少年健全育成を図るために」

4.男女共同参画センター運営委員会(3人)

男女共同参画センターの事業および運営について意見をいただきます。
男女共同参画センターの利用者
作文「男女共同参画センターの役割について」

5. 景観保全審議会（1人）

景観保全について協議します。
作文「秋田県の景観保全の取り組むべき課題」

6. 自然環境保全審議会（女性4人）

自然環境の保全について協議します。
作文「秋田県の自然保護はどうあるべきか」

農林水産関係

7. 海面利用協議会（女性2人）

漁業と遊魚との紛争の予防および調整や海面の有効利用について協議します。
作文「秋田県の海と魚と漁業について」

8. 水産振興協議会（女性2人）

水産業振興に関する事業計画について意見をいただきます。
作文「秋田県の海と魚と漁業について」

9. 木材産業等高度化推進運営協議会（女性1人）

木材産業について意見をいただきます。
林業、木材産業または金融のいずれかについて知識、業務経験をお持ちの方。

産業・労働関係

10. 創造的技術振興委員会（女性2人）

中小企業の創造的事業活動の促進について検討します。
作文「県内企業の技術開発に期待するもの」

11. 中小企業経営革新計画等審査会（女性2人）

中小企業の経営について意見をいただきます。
作文「県内企業を活性化させるための方策」

12. 工業振興会議（女性3人）

工業振興について意見をいただきます。
作文「秋田県の工業振興について」

13. ふるさと定住総合雇用対策推進協議会（女性3人）

総合的な雇用対策について意見をいただきます。
大学・短大・高等専門学校の教授、助教授またはこれらの職にあった方。
経済研究機関の役職員。
県または市町村の教育委員または教育委員だった方。
～ のいずれか。

建設・土地関係

14. 建設業審議会（女性2人）

建設業の改善について意見をいただきます。
作文「公共工事の入札制度について」

15. 地価調査委員会（女性2人）

基準地価格の調整や判定について意見をいただきます。
作文「秋田県の地価について」

教育・生涯学習関係

16. 心身障害児就学審議会（女性2人）

障害のある児童生徒の適切な就学について協議します。
作文「秋田県の特殊教育について」

17. 教科用図書選定審議会（女性2人）

教科書の採択について協議します。
小・中学校のPTA関係者
作文「委員に応募した動機について」

18. 学校教育こころの相談推進会議（女性2人）

不登校やいじめ等の問題について検討します。
作文「不登校問題解消のための取り組みについて」

19. 道徳教育推進会議（女性2人）

道徳教育について意見をいただきます。
作文「道徳教育について」

20. 社会教育委員の会議（4人）

社会教育の振興について意見をいただきます。
作文「秋田県の社会教育に望むもの」

21. 県立博物館協議会（女性3人）

博物館の運営について意見をいただきます。
作文「県立博物館に望むもの」

22. 岩城少年自然の家運営協議会（女性3人）

岩城少年自然の家の運営について意見をいただきます。
作文「岩城少年自然の家に望む活動について」

23. 保呂羽山少年自然の家運営協議会（女性3人）

保呂羽山少年自然の家の運営について意見をいただきます。
作文「保呂羽山少年自然の家に望む活動について」

24. 美術品取得基金美術品収集委員会（女性1人）

美術品の収集について協議します。
美術史、美術品に造詣が深く、美術品の評価に実績のある方。
発表論文、履歴書等実績を証明する資料の提出。

25. 埋蔵文化財センター運営協議会（2人）

埋蔵文化財センターの運営について意見をいただきます。
作文「埋蔵文化財の活用、利用について」



お問い合わせ・お申し込み先

〒010-8570

県総務部総務課 企画・行政改革班(住所は不要)

電話 018(860)1054

ファクス 018(860)1056

Eメールアドレス kaikaku@pref.akita.jp

さらなる雇用創出を めざして

第2次雇用創出 プログラムを策定

第2次雇用創出プログラムでは、これまでの企業訪問や調査活動、企業活性化・雇用緊急対策懇談会での意見や要望などを生かした施策・事業を中心にとりまとめました。

雇用創出のための事業

行政分野における雇用創出事業

緊急雇用創出特別基金の活用のほか、自学自習支援事業などの充実を図り、約7,500人の雇用を確保することとしています。

地域の特性を活かした雇用創出

第1次プログラムにアイデアとして取り上げたものの中から、今後本県で発展が期待される分野について、新たな事業化への動きを支援します。

- ・コミュニティ・ビジネス¹の推進
- ・秋田地域IX²等による情報関連産業の育成 など

- 1 コミュニティ・ビジネス...地域の人材・資源・技術などを活用し、地域の多様なニーズにこたえるビジネス
- 2 IX...インターネットエクスチェンジ(インターネット回線の相互接続ポイント)の略称

消費拡大に向けた施策の推進

消費者ニーズに対応した製品開発や技術開発、にぎわいのある商店街づくりなどを支援することにより消費意欲を喚起し、消費拡大を図ります。

- ・高齢者が楽しめるまちづくりや商店街への支援 など

県では、平成13年12月に策定した第1次雇用創出プログラムをもとに、市町村とも連携し、行政分野において新たに約3,600人分の雇用を創出しました。

また、3,000社を超える企業を訪問することにより、企業が抱える課題の解決に向けた取り組みを支援するとともに行政へのニーズを把握し、受注機会の開拓やマーケティング戦略を構築するための支援事業など、企業活性化に関する支援策を実施してきました。

企業等の活性化のための支援

既存企業等の活性化支援

企業の訪問結果を踏まえ、新製品開発や競争力の向上に努めるなど、意欲ある企業への支援を充実します。

創業の支援

新規性・成長性に優れたベンチャー企業に対しては、資金調達をはじめとした立ち上がり期や、その後の育成を含めたサポート体制づくりを支援するなど、創業に対する総合的な支援施策を強化します。

また、生活者やまちづくりの視点に立ったコミュニティ・ビジネスを推進します。

農業経営体等の活性化と建設業の経営革新

農林業の分野で新たな雇用の創出が期待される法人経営体等の活性化を図るとともに、建設投資の低迷により経営環境が急速に悪化している建設業の経営革新を支援します。

目標である「平成16年度までに22,000人の雇用創出」をより確かなものとするため、今後、プログラムに盛り込まれた事業を着実に推進することとしています。

このプログラムの詳細は、「美の国秋田ネット」に掲載しています。
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/koyokoi/>
お問い合わせ 県企業活性化・雇用緊急対策本部事務局
TEL018(860)5451~5454

南由利原高原・青少年旅行村

由利郡由利町 TEL0184(53)2126

「スノーモービルランドへ雪ましよう！」

初心者大歓迎！親子でスノーモービルを楽しんでみませんか？

期間 1月11日(土)から3月30日(日)までの間の土曜日・日曜日・祝日。
時間 1回目：午前10時から正午まで
2回目：午後1時から3時まで

参加料 大人620円、子ども310円

お問い合わせ 由利町企画商工課 TEL0184(53)2111



体験の所要時間は15分程度です

県立近代美術館

横手市赤坂 TEL0182(33)8855

企画展「Real Line～線をさがそう～」

洋画から日本画、書まで、平面作品約65点を題材に、「線」の表現効果や魅力を紹介します。線で遊べる体験コーナーもあります。

「白い空間」池内茂吉



遊・学 さんぽみち

日時 1月18日(土)～3月2日(日)
午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般400円、学生300円、小・中学生200円

十和田湖国立公園

「十和田湖冬物語2003」

1981年から行われている、冬の十和田湖の一大イベント。期間中は、花火や湖上遊覧などが毎日行われます。

期間 1月31日(金)～3月2日(日)

場所 十和田湖休屋特設イベント会場

お問い合わせ 小坂町文化観光課

十和田湖国立公園協会

TEL0186(29)5522

TEL0176(75)2425

冬の十和田湖を花火が彩ります





情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などをご紹介します。

国際的に活躍されている明石康さんと寺田知事の対談は参考になり、また、励みにもなりました。秋田の良さを生かし、発展していけたらいいと思います。

(40歳・女性・秋田市)

「雪みち安全ガイド」が、とてもよかったです。雪みちに対する心がまえを夫と確かめあいました。

(30歳・女性・五城目町)

秋田で行われる行事や催し物がわかり、便利だと思います。少し内容が難しい部分があるので、子どもでもわかるページを増やしてほしいと思います。

(13歳・女性・秋田市)

「春夏秋冬こぼれ話」、いつ見ても懐かしく、心温まる内容で大好きです。ぜひ、一冊の本にまとめてください。他県の人たちにも見てほしいし、子どもたちにも残したいと思います。

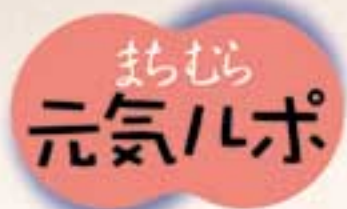
(39歳・女性・河辺町)

バリアフリー講座がとても勉強になります。バリアフリーの公共施設なども紹介してもらえると嬉しいです。

(25歳・女性・本荘市)

広報紙が届くと一番先にクイズを見ます。応募数も多いし、正解率も高いですね。楽しみにしています。

(53歳・女性・秋田市)



十文字町

[映画祭のまち]

十文字映画祭には雪がつきもの



第12回あきた十文字映画祭

開催日：平成15年2月7日(金)～9日(日)

会場：十文字町総合文化センター

【上映内容】

- 2/7 アジア秀作映画
- 2/8 新鋭監督コンペティション「北の十文字賞」受賞作
- 2/9 日本映画の新作・話題作(各作品の監督・出演者等ゲストとのトークアウト(対話)有り)

【前売りチケット】

1日券3,500円(JR東日本みどりの窓口、びゅうプラザ、秋田市トピコ、大曲タカヤナギイーストモールほかで発売中)

【お問い合わせ(1月6日から)】

018(866)1155(事務局)
平日/午前9時～午後6時、
土曜日/午前9時～午後3時、
日曜日は休み



映画全盛の昭和30年代半ば、全国に約7,500、県内にも130を超える映画館があったといえます。しかし、テレビやビデオの普及に伴い、多くの映画館が町からその姿を消していきました。

そんな中「好きな映画を大スクリーンで見たい」という町の青年たちの思いがひとつにまとまり「あきた十文字映画祭」が始まりました。

第1回映画祭は、平成3年12月31日～4年1月5日に開催されました。このとき、実行委員会の藤原正樹さんの大学時代からの友人、俳優の永島敏行さんが親身になって相談にのり、映画業界とのパイプ役を務めてくれました。永島さんは、今でもアドバイザーとして映画祭に貢献するほか、農作業を行うため家族や知人と一緒に十文字町を訪れるなど、映画祭を超えた交流を続けています。

「映画館のない町でも映画のある町に」というコンセプトで進めてきたこの映画祭も、最近では日本映画とアジア映画を中心に据えることで独自のカラーを出してきています。また、第9回映画祭からは若手監督の優れた作品を「北の十文字賞」として表彰し、新しい才能・文化を育て、全国に発信しようとしています。

実行委員会の役得?奥田瑛二さんと



映画祭の開催に向け、実行委員会のメンバーはあらゆる映画情報に目を配り、県外の映画館にも足を運ぶなど、知られざる優れた作品を発掘するために動き回っています。「映画祭をつくっていく中で企画力や実行力が自然と身に付いてきます。そういう人たちが増えることで地域も元気になると思うんです」と、実行委員会の吉村美貴子さんは語ってくれました。

実行委員会の吉村美貴子さん



情報 の ひろば

募集

あきた女性未来塾・傍聴者募集

政策形成を学び、県政の課題について調査・研究した成果を塾生が提言発表し、知事と意見交換します。

日時 2月3日(月) 14:00~15:30

場所 県庁正庁

募集人員 100人(先着順) 託児あり

募集期間 1月24日(金)まで

☎県男女共同参画課 TEL018(860)558

県立技術専門校中卒コースの生徒募集

県立技術専門校では、平成15年度生(中卒コース)を募集しています。

受付期間 2月12日(水)~26日(水)

選考日 3月11日(火)

合格発表 3月17日(月)

出願資格 中学校卒業生(平成14年度卒業見込みの方を含む)

☎県労働政策課 TEL018(860)2322

または各県立技術専門校

優良県産品推奨認定制度をご利用ください

県産品の需要拡大と品質の向上を図るため、審査基準をクリアした優良な県産品に認定証および推奨マークを交付しています。対象は、食品、木製家具、小木工品、民芸品などです。

募集期間 1月31日(金)まで

☎県観光課 TEL018(860)2266

(財)秋田県物産振興会 TEL018(836)7831

放送大学・15年度第1学期学生募集

放送大学は、テレビ・ラジオを利用して授業を行う正規の大学で、幅広い分野の約300科目から選択できます。

募集対象 18歳以上の方(卒業を目的としない選科・科目履修生は15歳以上)

出願受付 2月28日(金)まで

大学院 修士科目生も募集しています。

☎放送大学秋田学習センター

(秋田大学内) TEL018(831)997

お知らせ

農作業に使う軽油の免税手続きを

各県税事務所では、農業用機械に使用する軽油について、軽油引取税の免税証の交付申請を受け付けています。受付日や必要書類などを確認のうえ、手続きをしてください。また、町村によっては出張交付を行いますので、あわせてご確認ください。

☎最寄りの県税事務所

ごみ焼却炉の基準が厳しくなりました

ダイオキシン類の発生量を減らすため、昨年12月1日から一般家庭用を含むごみ焼却炉の基準が厳しくなりました。これにより、基準に適合しない焼却炉は改造等の対策が必要です。また、焼却炉を使用しないでごみ等を燃やす「野焼き」は原則として禁止されています。新基準について、詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.pref.akita.jp/kankyoho/kijun/kijun.htm

☎県環境政策課 TEL018(860)1606

秋田の情報をホームページで発信

あなたのお気に入りの観光スポット、おいしいお店、おみやげ品など秋田の情報をインターネットで全国に向けて発信しませんか。

秋田県総合観光サイト「あきたファンドットコム」の『なんでも情報箱』では、皆さんからのおすすめ情報を募集しています。所定の様式に記載し登録すると、あなたの情報がトップページに表示されます。

http://www.akitafan.com

☎県観光情報発信チーム

TEL018(860)2273

育児・介護休業者生活資金貸付制度をご利用ください

育児・介護休業中の方または休業期間終了後30日以内の方を対象に、経済的な負担を軽減するため、生活資金を貸付しています。

貸付期間は据置期間1年を含み5年以内、利率は保証料を含み年2.0%です。詳細については最寄りの秋田県労働金庫にお問い合わせください。

☎県労働政策課 TEL018(860)2302

県内就職希望の学生を応援します!

平成16年3月卒業予定の大学・短大・高専・専修学校の学生を対象とした「秋田県ふるさと就職促進セミナー」と今春卒業予定の学生を対象とした「就職面談会」を開

催します。就職活動に関するアドバイスのほか、企業の採用担当者による個別面談などを行います。ふるってご参加ください。

日時 2月21日(金)

16年3月卒業生

12:30~17:00(受付11:30~12:30)

15年3月卒業生

14:00~17:00(受付13:30~)

事前の申し込みは不要です。

会場 秋田ビューホテル(秋田駅前)

☎県雇用対策室 TEL018(860)2333

秋田県の最低賃金が改正されました

常用、臨時、パートタイマー、アルバイトなどに適用される最低賃金が改正されました。なお、今回から最低賃金は時間額のみとなります。

地域別

秋田県最低賃金(すべての産業に適用)

605円 平成14年9月30日から

産業別

非鉄金属製錬・精製業

665円 平成14年11月29日から

電気機械器具製造業

671円 平成14年12月25日から

自動車・同附属品製造業

700円 平成14年12月20日から

自動車(新車) 同部分品・附属品小売業

689円 平成14年12月21日から

☎秋田労働局賃金室 TEL018(883)4266

催し

わくわく絵本パーク

幼児から大人まで、みんなが一緒に楽しめる絵本のイベントを開催します。絵本の楽しさを再発見しましょう。

日時 2月2日(日)

11:00~12:00 13:30~14:30

場所 県児童会館「子ども劇場」

内容 ピアノの生演奏・スライドをバックにした「声優によるおはなし音楽会」

☎県児童会館 TEL018(865)1161

イデハのくのに雪まつり2003

子どもたちに大人気の「雪遊びコーナー」巨大かまくらの中で永遠の誓いを交わす「かまくらウェディング」、心も身体も温まる「屋台コーナー」、フィナーレは冬の夜空を彩る「冬花火」など、楽しさと感動がいっぱいの雪祭りに出かけてみませんか。

日時 2月8日(土) 10:00~21:00

場所 秋田ふるさと村(横手市)

☎イデハのくのに雪まつり実行委員会

TEL018(32)1170

県平鹿地方部県民室

TEL018(32)0594

☐ テレビ

新春知事対談

1月2日(木) 8:30~9:00 AKT(倉本聰さん)
3日(金) 14:25~14:50 ABS(石川好さん)
4日(土) 9:30~10:00 AAB(浜美枝さん)

こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00~11:15
1月12日 110番の日
19日 田沢湖スキー場に行こう!
26日 雪国のパリアフリー

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00
1月13日 今年も期待!スワローズ・石川雅規投手
20日 今年も期待!キャスター・小倉智昭さん
27日 今年も期待!競艇・内田亜希子選手

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45
1月11日 餅の文化を伝える~仙北町の魅力~
18日 気軽にスポーツ~ながくつホッケー~
25日 活躍する海外技術研修員

📶 ラジオ

県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50

モーニングスマイル

エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55

広報の窓

あんな声こんな声



沿岸部の松枯れが目立ちますが、最近では秋田市北部から天王町にかけての「夕日の松原」でも見られるようになりました。県ではどのような対策を講じているのでしょうか。
(「電子メール秋田県への提言」より)



松枯れの多くは松材線虫病と呼ばれる強い伝染力を持った外来の病原体によるもので、日本の松は遺伝的に全く抵抗力を持たないため、北海道と青森県を除く全国各地で被害が発生しています。本県でも昭和57年以来、54市町村に被害が拡大しています。

このため、県や市町村では海岸林や保安林など保全すべき松林を防除対象松林に指定し、被害木の伐採と薬物処理、予防のための薬剤散布などの対策を講じてきました。しかし、急激に被害が拡大していくため、結果として防除が完全とは言えないことも事実です。

「夕日の松原」でも、被害拡大の原因であるマツノマダラカミキリの幼虫が生息する被害木を伐採・薬物処理したり、成虫の発生時期に合わせて地上や無人ヘリから薬剤を散布するなどして徹底した防除に努めています。今後とも被害の防止に努めてまいりますので、よろしくご協力をお願いします。

フリーダイヤルでお気軽に

0120-229079
県民行政相談室

相談対象 県の行政に対するあなたの利害にかかわる苦情
電話 フリーダイヤル 0120-229079 (携帯電話からは、018(860)1082・1083をご利用ください)
場所 県民行政相談室(県庁1階)

春夏秋冬
こぼれ話

シリーズ45

★ 小西 一三 / 著 小西由紀子

回る台とベテランの技が生み出す
手焼きのきりたんぼ



1人で2台分
300本近くも
順ぐりに焼い
ていくんだもの
ぞりゃあ、気が
抜けません

菅原
アエ子さん

炭火の熱気で
缶の中のお湯が
わく、はずした
串はこのお湯に
つけ、残ったご飯が
こびりつくのを防ぐ。

秋田駅から徒歩数分。秋田市民市場の近くにあるその店からは秋から春にかけて、きりたんぼを焼く香ばしい香りが漂ってくる。十二月だというのに店のガラス戸は開けっ放し。赤々とおきた炭火を置いた台を前にして、額に汗を浮かべた従業員がきりたんぼを焼き続けている。「この台は私のおばあさんの代に工夫したもので、もう三十年以上になります。それ以前は囲炉裏で焼くように、灰に串を刺して焼いていたと聞いています。こう説明してくれたのは、炭火焼きりたんぼで知られる鈴和商店の専務、鈴木昌幸さん(二八)。

この台は機械と呼ぶべきか、それとも道具と呼ぶべきか?何にしても実に機能的だ。台に手をかけて押すと、左右どちらにでもクルクル回るので、人が動かなくても串を移し替えることができる。外側の列から内側の列に徐々に移し替えることにより余分な水分が抜け、最後に最前列でこんがり焼き上げる。鈴和商店にはこの台が計七台。一人で二台を扱い、きりたんぼを焼き続けている。「杉の串にご飯を巻き付ける仕事も、台の前に立つて焼く仕事も両方やるけど、特に焼く仕事は気が抜けません。焼きが足りないと串がうまく抜けにくいし、焼き過ぎると黒コゲ。そうならたら売り物になりません。ほんのりキツネ色にならしたら、サッと抜く」。この店で働いて十二年目になるという菅原さんは説明しながらも、その視線は左右の台を行ったり来たり。台を少し回しては串を移し替え、ほんのりキツネ色に仕上げている。この店では年末年始のピーク時には二升炊きの釜で一日七十釜も炊き上げ、約五千本のきりたんぼを作るといふ。一日で使う炭の量は九十キロ。パートを含め二十名の従業員でフル稼働となる。「今時、うちのよつな手焼きの店は珍しいですよ。すけど、やっぱり炭火の味が違うよ。ってほめられるのがうれしくて...」と昌幸さん。作業は三月いっぱい続けられる。



私のおすすめ 「秋田の風景」

「秋田市・秋田港」
石郷岡あつ子さん(秋田市)



ふ頭に積まれたコンテナや迫力ある荷揚げ作業を見て、韓国の釜山港などとの交流が盛んになっていることを実感しました。

帰り際、赤い大きなクレーンの向こうに偶然見つけた美しい虹。この虹が秋田と世界を結ぶ大きな架け橋のように思われ、しばし見とれてしまいました。

あなたのお気に入りの風景(自然景観や街並みなど)の写真に、その風景にこめるあなたの思いを100字程度書き添えのうえお送りください。採用された方には図書カード千円分をさしあげます。写真はお返ししませんので、ご了承ください。

カラープリント、サイズは自由。郵便番号、住所、氏名(読みがな)、電話番号をお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課(住所は不要)あてお送りください。

バリアフリー 講座……………その10

障害者スポーツ



野山が雪におおわれ、いよいよスキーシーズン到来ですが、皆さんは、スキー場で障害を持った方を見かけたことはありますか。車いすを使用している人は、いすの下にスキーのついたチェアスキーに、アウトリガーという小さなスキー板のついたストックなどを使って滑っています。目の不自由な人は、誘導の音を頼りに滑ります。

スキーのほかにも、マラソンや登山、水泳、バスケットボール、野球、サッカー、ダンスなど、障害を持った方々も季節に応じたさまざまなスポーツを楽しんでいます。

秋田わか杉国体が開催される平成19年、「全国障害者スポーツ大会」も本県で開催されます。選手や大会関係者あるいは観客として、障害のある方々も大勢、本県を訪れます。競技場や宿泊施設、交通機関などのバリアフリー化はもちろんのこと、あたたかいおもてなしの心でお迎えしたいですね。

お問い合わせ 県バリアフリー促進チーム TEL018(860)325
ホームページ: <http://www.pref.akita.jp/b-free/>

「秋田わか杉国体」 シンボルマーク募集



平成19年開催の「秋田わか杉国体」公式シンボルマークを募集しています。

締切 1月31日(金) 当日消印有効
応募方法 A4判用紙1枚に1点をデザインし、着色してご応募ください(コンピュータのデータは不可)

賞品等 最優秀賞 1点 賞金50万円
優秀賞 3点 賞金10万円

規定 デザインの中に必ず右上の「国体マーク」を入れてください。

<http://www.pref.akita.jp/kokutai/kokutai.htm>

君のハートよ位置につけ

秋田わか杉国体

2007 第62回国民体育大会

県国体準備室 TEL018(860)5208

クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 定期コンテナ便で秋田港と結ばれている韓国の港は?

- (1)釜山港
- (2)光陽港
- (3)仁川港

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは1月25日(消印有効)。ハガキ、ファクス(018-860-1072)、Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

11月号の正解は(3)でした。応募422通、うち正解418通の中から抽選で次の方々が当選されました。

佐藤泰史さん(鹿角市) 珍田律子さん(山本町) 斎藤由紀さん(五城目町) 谷愛子さん(若美町) 斎藤都志子さん、須田恵子さん、田村遊さん(以上、秋田市) 二木鉄夫さん(本荘市) 鈴木直保さん(仙南村) 菊池智恵子さん(横手市)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国秋田ネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。

編集部から

ハタハタが「県の魚」に制定されました。ご意見をお寄せいただいた皆さん、ありがとうございました。

雪が降り積もり、真冬日を記録するなど、いよいよ冬本番です。道路状況も悪くなり、通勤・通学にも苦労する季節ですが、一人ひとりが安全運転を心がけるなどして、事故とは無縁の冬を過ごせますように。



県人口 1,175,592人 (-318)
男 556,991人 (-126)
女 618,601人 (-192)
世帯数 394,973世帯(+224)

(平成14年11月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています